



札幌黄

始まり

明治4年（1871年）、開拓使によってアメリカから持ち帰った玉ねぎの種子を栽培し、札幌村が日本の玉ねぎ栽培発祥の地となりました。

その後、明治10年に札幌黄の栽培試験が行われ、ウィリアム・P・ブルックス博士による栽培指導により、外國に輸出できるほど札幌黄が量産されました。

市民の宝物、札幌黄

札幌黄は、柔らかく糖度が高く、辛みとのバランスも良いことから飛躍的に普及しましたが、F1種（病気に強く、収量が多く、大きさが揃っている）の登場と札幌市の都市化などにより、現在は札幌市全体の3%まで生産が激減し、「幻のたまねぎ」と言われています。

平成19年、札幌黄は食の世界遺産に認定され、「地産地消」「在来種の見直し」から再び脚光を浴ぶこととなり、北海道の玉ねぎ栽培100年を支えた唯一の品種として、いつまでも守っていきたい市民の宝物です。

歴史年表

元町

現在の東区南西部（元町）はかつて「札幌村」と呼ばれていました。石狩開拓の幕を受けた大友亀太郎が元町と名付けた場所です。

年	事柄
1866	慶応2 大友堀開削（札幌村の始まり）、妙見堂を建てた村の鎮守とした
1871	明治4 札幌村で最初に玉ねぎを試作
1877	明治10 元村で札幌黄の栽培が始まる
1881	明治14 明治天皇が札幌村、苗穂村行幸
1889	明治22 玉ねぎの栽培が定着の兆しを見せる
1933	昭和8 市営バス元村線の営業開始、市営バス元村線が延長
1947	昭和22 札幌村立札幌中学校 設立
1950	昭和25 元村の部（烈々布中通）が札幌市に編入
1955	昭和30 札幌村が札幌市に編入
1962	昭和37 札幌市立開成高等学校 設立
1963	昭和38 元町連合町内会設立（12町内会・自治会）
1965	昭和40 札幌市立元町小学校 設立
1972	昭和47 東区誕生
1977	昭和52 札幌村郷土記念館完成、東区役所新庁舎と区民センター完成
1980	昭和55 札幌市立元町中学校 設立
1981	昭和56 札幌市立開成小学校 設立
1982	昭和57 東区体育馆完成
1988	昭和63 地下鉄東豊線開通、開成高校 甲子園に出場
1992	平成4 東区マスコットキャラクター「タビー誕生」
2000	平成20 元町まちづくり協議会 設立、元町まちづくりセンターを地域自主運営
2013	平成25 元町連合町内会設立50周年
2015	平成27 市立札幌開成中等教育学校 開校
2017	平成29 元町連合町内会と元町まちづくり協議会を組織統合して元町まちづくり連合会を設立
2018	平成30 元町まちづくりビジョンの見直し、元町地区防災計画を策定
2019	令和元 元町まちづくり記念碑建立

街並みの変遷

東区今昔3
「東区拓殖史」
札幌百年の年譜
東区歴史年表
JAさっぽろ
「札幌黄特許」
「札幌黄の栽培日記」
札幌村郷土資料館資料

1947 (昭和22) 年 1974 (昭和49) 年 1999 (平成11) 年 2012 (平成24) 年

元村街道

街道の位置

東区の北7条東3丁目あたりから、北東に伸びる道路は、「元村街道」「斜め通り」と呼ばれ、東区役所付近は「ファイターズ通り」として親しまれています。

札幌市の中心部と元町地区を結び、その先は丘珠、篠路を経て、石狩市に通じています。

慶應2年から明治にかけて、入植した開拓農民により切り開かれ、かつての伏古川に沿った陸路でした。

一世紀前を散策

川は姿を消しても、元村街道だけは市街地図に1本の道路として刻まれています。街道沿いに地図を片手に散策すると、石造りの倉庫や古い木造の建物などがみられ、一世紀前の札幌村に戻った気分に浸ることができます。

元町の文化施設

札幌村郷土記念館

住 所 札幌市東区北13条東16丁目2-6
電話番号 011-782-2294
開館時間 午前10時～午後4時
休 館 日 每週月曜日、祝日の翌日、12月29日～1月5日の8日間
入 場 料 無 料

